

【活動日誌233】酪農学園大学の学生さんが来館されました

先日、酪農学園大学の学生さんが博物館の見学にいらっしゃいました。酪農学園大学の獣医学群では、学生の意見を大学の運営に反映されることを目的に、獣医学群学生会 SAVER (SAVER; Student Association for Veterinary Education, Rakuno Gakuen University) が組織されているそうです。見学当日は、SAVERに所属する学生さんが本学の視察のために来校され、本学のE棟・D棟・動物医療センターの見学会や本学の学生との交流会が開催されました。当初のスケジュールでは博物館の見学は予定されていなかったのですが、交流会で当館のことが話題になり、来館のご希望を受けて急遽展示室をご案内することになりました。

自然系展示室では、本学は市街地にあるものの、武蔵野市内には多くの自然が残っており、学内でもタヌキやハクビシンなどの野生動物が目撃されていることを紹介しました。また、獣医保健看護学科病態病理学研究分野と連携した特別展をご覧いただき、本学で行われている研究についても紹介をしました。

帰りの飛行機の時間が迫る中、30分ほどの短い時間ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で見学会を終えることができました。またのご来館をお待ちしています。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #酪農学園大学



- ① 交流会に参加した本学の学生さんにも一緒に博物館を見てもらいました。
- ② 写真は名刺交換している様子。最後は正門前まで全員でお見送りをし、学生同士の交流もとても深まったようです。

【休館情報】3月5日の臨時休館について

本日3月4日から明日3月5日にかけて、首都圏の広い範囲で降雪が予報されております。交通機関等に大きな影響が生じる可能性があることから、3月5日は臨時休館とさせていただきます。

来館を楽しみにされていた皆様には多大なご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

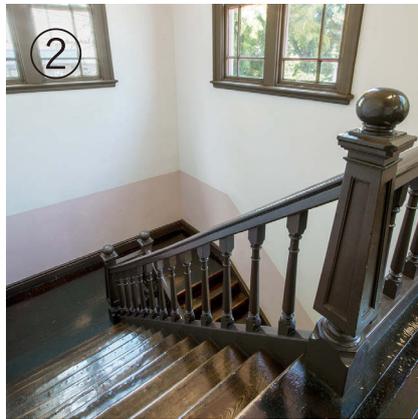
【活動日誌234】令和6年度学位記授与式

本日3月6日は本学の学位記授与式(卒業式)です。博物館スタッフ一同、心よりお祝いを申し上げます。

当館は通常であれば見学に予約が必要ですが、学生と教職員、そして学位記授与式にご列席された方であれば、本日は誰でも自由に見学できるようになっています。学位記授与式は昼過ぎに終了する予定ですが、博物館は本日17:00まで開館しておりますので、ぜひ博物館までお立ち寄りください。皆様のご来館をお待ちしています。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学位記授与式 #卒業式



- ① 博物館のある一号棟の入り口にも学位授与式の案内が掲示されています。
博物館が活動拠点とする一号棟は、明治時代に建てられた区役所庁舎を移築したものです。趣のある建物の中で、袴姿の記念写真を撮影してはいかがでしょうか？
- ② おすすめフォトスポット①: 一号棟の階段
- ③ おすすめフォトスポット②: 2階の廊下
昔の趣がそのまま残っています(左出典: 日本獣医畜産大学第15期生卒業アルバム(1967))

【お知らせ】オープンキャンパス開催あわせた特別開館について

2025年3月15日(土)に本学のオープンキャンパスが開催され、当館も特別開館いたします。通常は当館のご見学には事前の予約が必要ですが、3月15日は特別開館のため予約なしで見学が可能です。見学をご希望の方は見学時間内に当館までお越しください。

ご来館いただいた方は、常設展示のほか現在開催中の特別展「NVLU 奄美プロジェクト-研究・保全・そして未来-」をご覧いただくことができます。本展示では本学の獣医保健看護学科病態病理学研究分野が行った奄美大島の動物たちを対象とした研究の成果を紹介しています。

なお、オープンキャンパスでは高校1～3年生・既卒生・教諭・中学生の方を対象に、各学科の説明や体験講義、個別相談、研究室紹介などを実施いたします。本学にご興味がありましたら、ぜひ当館の見学とあわせてご参加ください。

※オープンキャンパスの詳細情報は本学公式受験生サイト「ニチジュウNAVI」を御覧ください

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス

〈オープンキャンパス共通イベント 附属博物館自由見学〉

- 受付場所…一号棟1階
- 実施場所…附属博物館(一号棟)
- 見学受付開始…10:00
- 見学受付終了…14:30(閉館 15:00)

■ニチジュウNAVI オープンキャンパス 3.15(土)

<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/event2026/0315/index.html>

オープンキャンパスの詳細や申込みについてはこちら

■展示紹介

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/about/exhibition.html>

常設展示の詳細はこちら

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html>

特別展の詳細はこちら

【活動日誌235】アシカ類骨格標本の調査 その1

昨年度になりますが、本学の卒業生の方が個人で収集された2000点を超える骨格標本について、天尾弘実名誉教授の紹介で寄贈のご提案をいただきました。その後の打ち合わせ等を経て正式にご寄贈をお受けすることとなり、昨年度から今年度にかけて寄贈に向けての調整を進め、現在はそのうちの一部の標本を寄贈の準備のために博物館でお預かりしています。その標本の中に、「アシカ」というラベルの付いた若齢獣の骨格標本が見つかりました。所有者の方に標本の来歴や詳細についてお尋ねしたところ、明治時代から続く剥製業者の方から、不要になった冷凍標本をもらい受けて骨格標本にしたもの、という経緯を教えてくださいました。

当館では、以前こちらのFacebookで報告した、一号棟に置かれていた大型海獣類の剥製についても調査を実施していたため、その剥製の調査にご協力をいただいた国立科学博物館の地学研究部・生命進化史研究グループ長の甲能直樹博士を通じて、東京大学大学院新領域創成科学研究科で鰭脚類の個体発生を研究されている甲能純子博士に、若齢のアシカ類と思われる古い骨格標本が発見されたことについて情報提供を行いました。

何枚かの写真を撮影して欲しいとのご要望を受けてお送りしたところ、頭蓋骨に殆ど乳歯が残っているらしいことから胎児の可能性が高いこと、また頭蓋骨や歯の特徴からアシカ科の哺乳類であることがわかりました。

そこで、大型海獣類の剥製の時と同様に、甲能先生御両名に当館までご来館いただき、実際に骨を見ていただくこととなりました。実見の結果については、また改めてご報告したいと思います。

(スタッフ 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #アシカ

■【活動日誌165】剥製の状態調査

<https://tinyurl.com/29tmh577>

種類がわからなかった大型海獣類の剥製を見に来ていただいた時の様子を紹介しています



- ① 骨格標本が入っていた袋と標本。骨格標本はジップロック1袋にまとめられていて、袋の中に見える紙には「アシカ」と書かれていました。
- ② 撮影してお送りした写真のうちの1枚で頭蓋骨を正面から撮影したもの。鼻骨の外側輪郭がM字型に見える形をしていることがアシカ科の特徴の一つだとのこと。
- ③ 同じく、撮影してお送りした写真のうちの1枚。頭蓋骨を横から見ると、犬歯と頬歯の乳歯が確認できます。

【今日は何の日8】世界クマの日

3月23日は「世界クマの日」(World Bear Day)です。世界クマの日は、世界に原生する全8種のクマの啓蒙と保護のためにWorld Animal Protection(世界動物保護協会)が提唱している記念日です。

ここで対象とする8種のクマ(アメリカグマ、ツキノワグマ、ヒグマ、ジャイアントパンダ、ホッキョクグマ、メガネグマ、ナマケグマ、マレーグマ)のうち、アメリカグマとヒグマを除く6種は、「The IUCN Red List of Threatened Species」、いわゆるIUCN

レッドリストにおいて、絶滅危惧II類 (VULNERABLE:VU)に指定されており、クマたちは世界的に絶滅の危機が迫る分類群であると言えます。

当館では自然系展示室の常設展として日本の里山に生息する動物たちの展示を行っており、現在はツキノワグマの幼獣の剥製を展示しています。この剥製は巣穴から出てきた直後の幼獣の個体で、来館される多くの方に人気を博しています。

今年の3月23日は日曜日であいにく当館は休館ですが、飛び石連休も利用してぜひ子ぐまに会いに来てください。

#WorldBearDay #日本獣医生命科学大学 #博物館 # ツキノワグマ
(スタッフ 廣瀬)

■【絶滅危惧種展2024-2】ツキノワグマ

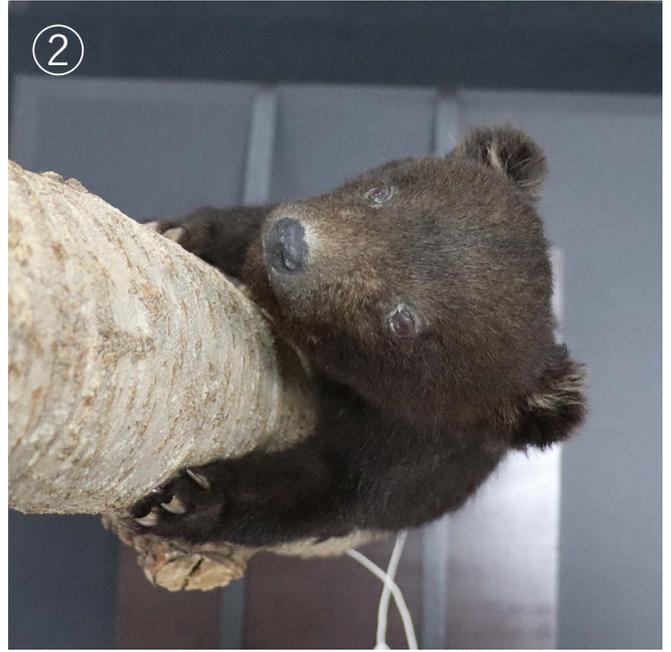
<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0RiF3JaPnQjaMQtnhAuxwSdb91hmLWoj9R976tuPKuF7GwrWBRP6gXjR8gwKov8VLI>

昨年夏に開催した絶滅危惧種展で展示したツキノワグマの骨格標本と、ツキノワグマについての解説記事です

■World Bear Day(英語)

<https://www.worldanimalprotection.org/our-campaigns/sentience/animal-awareness-days/world-bear-day>

World Animal ProtectionのWorld Bear Dayの公式サイト。クマにどんな危機が迫っているかなどの情報が掲載されています。



- ① 全身。若い個体でも爪はともしっかりしています。
- ② 顔(上)から見た様子。ツキノワグマは胸部の白斑を除き全身黒毛の個体が多いですが、幼獣では耳に白い毛が生えている個体が見られるようです。
- ③ ツキノワグマの名前の由来となっている胸部の白斑。この個体は模様が薄くわかりづらいようですが、右腕上部にははっきりと白い斑が見えます。

【イベント情報】「おむすびカルチャー」にて キリン「長次郎」に関する講演を行います

「おむすびハウス三鷹」は、空き家をリフォームし「人と人とをむすぶ地域の居場所」として活動をしている団体です。おむすびハウス三鷹が主催するイベント「おむすびカルチャー」にて、当館学芸員石井がキリン「長次郎」に関する講演を行います。

長次郎は1940年(昭和15年)10月に上野動物園で生まれ、1942年(昭和17年)7月に井の頭自然文化園に引っ越したのち、1944年(昭和19年)12月に死亡したキリンです。死亡後は本学(当時の校名は日本高等獣医学校)にて解剖され、4年以上の歳月を経て骨格標本となりました。イベントでは、こういった長次郎の来歴を紹介するほか、今年の1月に実施した骨格標本の解体の様子などを紹介します。

こちらのイベントは現地とオンラインのハイブリットで開催されます。興味のある方は、ぜひお好みのスタイルでご参加ください。

〈第33回おむすびカルチャー キリン「長次郎」の歩み〉

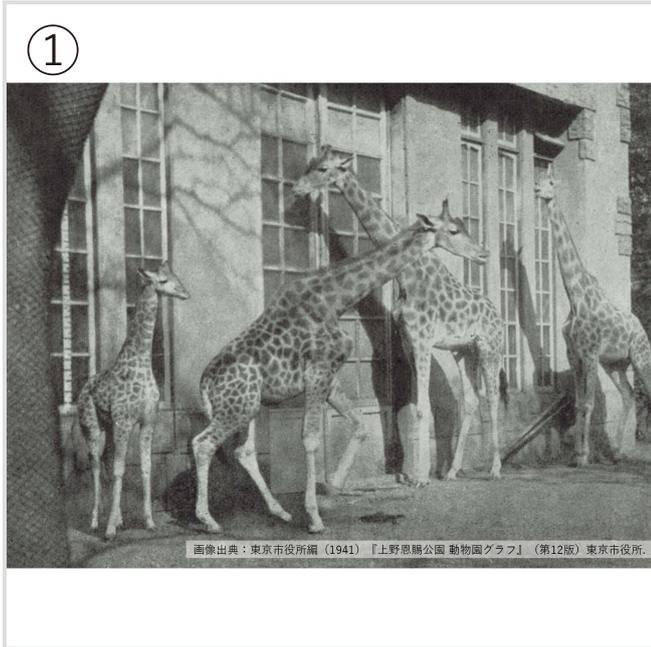
- ・日時 4月9日(水) 14時～15時30分
- ・講師 石井 奈穂美(日本獣医生命科学大学附属博物館学芸員)
- ・会場 おむすびハウスまたはオンライン
- ・会費 おむすびハウスに来られる場合は300円、オンラインは無料
- ・申込み omucal@yahoo.co.jp または 090-7173-6425

詳細は下記のページをご参照ください

<https://omusubihouse-mitaka.org/archives/3049>

※博物館では参加の申し込みを承っておりません

※イベントに関する内容は「おむすびハウス三鷹」に直接お問い合わせください



- ① 生前の長次郎とその家族(左から、長次郎、高男(兄)・長太郎(父)・高子(母))
(画像出典：東京市役所編(1941)『上野恩賜公園 動物園グラフ』(第12版)東京市役所.)
- ② 本学で骨格標本となった当時の長次郎
(画像出典：日本獣医畜産大学専攻科第1期生(1952)卒業アルバム.)
- ③ 解体された長次郎：解体時の様子についてお話をするのは今回が初めてとなります



- ① 一号棟入口の様子
オープンキャンパスの際は一号棟正面の入口から入って左奥の部屋に受付を設置しています
- ② 自然系展示室の様子

【活動日誌236】オープンキャンパスに合わせて開館しました

3月15日に開催された本学のオープンキャンパスにあわせ、博物館の特別開館を実施しました。当日は博物館の作業室に受付を設置し、博物館見学の受付を済まされた150名の方に自由に館内を見学していただきました。来館者を対象としたアンケートでは、「剥製をととても間近に見られるのが嬉しかった。」といったコメントや、特別展をご覧になって「(奄美に)行ってみたい、関わりたいという気持ちが非常に増した。」といったコメントをいただきました。

次回のオープンキャンパスは5月18日に開催されます。現在展示中の特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」を見ることが出来る最後のオープンキャンパスとなりますので、まだご覧になっていない方はこの機会に来館されてはいかがでしょうか？

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス

■3月15日(土)にオープンキャンパスを開催しました

<https://www.nvlu.ac.jp/news/20240521-01.html/>

当日のイベント全体のレポートはこちらです

■ニチジュウNAVI 日本獣医生命科学大学 受験生向けイベント

<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/event/index.html>

来年度開催されるオープンキャンパスのスケジュールはこちらを御覧ください。

(現時点では5月以降の詳細は表示されていませんが、博物館はオープンキャンパスにあわせて特別開館する予定です)

【お知らせ】入学式にあわせた特別開館について

4月7日に挙行される本学の入学式にあわせ、博物館を特別開館いたします。

現在自然系展示室では、本学獣医保健看護学科病態病理学研究分野と連携した特別展「NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来-」を開催しています。本展示では、同研究室が取り組んでいる奄美大島の動物たちを対象にした研究の成果を紹介しています。新入生の皆様は、大学生活の第一歩として本学の最先端の研究成果を学んでみてはいかがでしょうか？

当日は、本学関係者(教職員・学生)および入学式にご列席の方であれば予約なしで博物館を見学することが可能です。見学の際は直接博物館までお越してください。

なお、上記の方以外は見学に事前のご予約が必要となります。詳しくは「来館案内」をご覧ください。

〈入学式にあわせた特別開館〉

- ・ 場所 日本獣医生命科学大学附属博物館
- ・ 開館時間 10:30 ~ 17:00 (最終入館 16:30)

※ 受付は設けておりませんので、ご見学の際は各展示室入口にあるボードにシールを貼り付けてください

■ 令和7年度入学式について

<https://www.nvlu.ac.jp/news/20241023-02.html/>

入学式の詳細はこちら

■ 来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

関係者以外でご見学をご希望される方は「開館情報」部分の「個別見学のご予約について」をご一読ください